

共同研究現地視察で訪問された一般市民・学校関係者に講演しました(2017/7/28)

テーマ：災害発生直後の避難所で求められる医療支援と問題点、地域防災、学校防災
場所：東北大学災害科学国際研究所棟（宮城県仙台市）

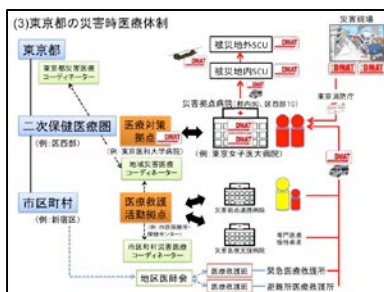
2017年7月28日、宮城県仙台市の東北大学災害科学国際研究所において災害研共同研究「副都心新宿の指定避難所近隣町会・学校・行政等との連携で進められる災害対策」の現地視察および巡検が開催され、当研究所の佐々木宏之助教（災害医学研究部門 災害医療国際協力学分野）が東京都新宿区の成城中学校・高校関係者、近隣地域住民、保健所関係者に、「災害発生直後の避難所で求められる医療支援と問題点」と題して講演しました。

本共同研究は、順天堂大学大学院医学研究科の坪内暁子助教を中心とする『災害対策について「伴に」考える研究会』の研究テーマに端を発するもので、同研究会は、地域社会や地域住民が多様化する東京都において、健常者に限らず社会的擁護が必要な高齢者、障がい者、外国人など「地域に内在する多種多様なリスクを把握した上での医療・保健・福祉支援システムを協働で創ること」を目的として発足しました。

東京都新宿区の成城中学校・高校は、私立の学校ながら地域の生徒数減少によって新宿区の指定避難所となっています。学校内には計1700名ほどの教職員が在籍し、東日本大震災時には交通機関停止によって多数の生徒・教職員が帰宅困難となったそうです。加えて、学校は日本のターミナル駅新宿駅から約3kmの位置にあり、首都直下地震では多くの帰宅困難者が学校に押し寄せる可能性があること、周辺地域には木造家屋が多く存在することの他、狭隘な生活道路、住民の高齢化など災害時の脆弱点を複数抱えた地域です。

佐々木助教は「災害発生直後の避難所で求められる医療支援と問題点」と題し、現状の災害医療の基礎について解説したのち、東京都福祉保健局の「災害時医療救護活動ガイドライン」を解説しながら、首都直下地震時の医療体制・対応について説明しました。新宿区の属する区西部保健医療圏においては計1063名の死者、14000名ほどの傷病者、2138名ほどの重傷者が発生し、医療圏に11ある災害拠点病院には1病院あたり194名の重傷者、計635名ほどの傷病者が搬送され、病院は大混乱に陥ること、都内に4000箇所以上できる避難所に真っ先に到着できる医療者は近隣の診療所・クリニックなどの医療関係者であろうことなどを解説しました。新宿区原町や柳町などの近隣町会の会長、防災担当幹事の方々は自らの地域における緊急時の医療支援についての事前対策が喫緊のものであることを再認識されていました。

また会では、宮城県多賀城市の多賀城高校災害学科の生徒と成城高校の生徒が、発災時に避難所で学生ができることについて意見交換するなど、若い世代の防災意識醸成に資するプログラムも盛り込まれていました。



東京都の災害時医療体制を説明する模式図

| 区 | 死亡者数 | 傷病者数 | 重傷者数 | 災害拠点病院 | 二次救急医療機関数 | 救急医療機関数 |
|-----|------|-------|------|--------|-----------|---------|
| 新宿区 | 293 | 6792 | 887 | 7 | 10 | 12 |
| 中野区 | 214 | 2415 | 356 | 2 | 5 | 7 |
| 杉並区 | 556 | 4849 | 895 | 2 | 7 | 8 |
| 計 | 1063 | 14056 | 2138 | 11 | 22 | 27 |

（平成24年4月 首都直下地震による東京の被害想定～概要版～）
（管轄区分の外、平成23年4月）

全ての医療機関が通常どおりに運営しているものとして...（迅速避難継続中）
全ての重傷者が災害拠点病院に均等に搬送された 2138-11=1927(人)

重傷以外の傷病者11918(人) (=14056-2138)が救急告示病院に搬送された 11918-22=11896(人)
（例）東京女子医科大学病院（災害拠点、救急告示）に搬送される傷病者数 重傷者194人・中・軽症者441人=635(人)

首都直下地震時の区西部保健医療圏の人的被害推計

- 【テーマ】災害発生直後の避難所で求められる医療支援と問題点
1. 首都直下地震：東京のみならず、人口の特に多い都3県に被害
 2. 被災地外からの支援者はすくには都内に入れない。火災、道路閉鎖の問題（避難所までの道路閉鎖が行われるのはいつか？）
 3. 最も早く、避難所での医療支援には入れるのは近隣の医療機関（特に診療所・クリニック）の医療者か（12時間を通ると支援の医療救護隊が入ってくるだろうか）
 4. 医療救護隊が来るまでは、内部の人間でなんとかしなければならない。（「ナントカ」とは何か？）
 5. 発災直後に発生する医療ニーズはアージョ送らぬか？
 6. 医療救護所が設置されるか、されないか？それはいつなのか？
 7. 緊急もしくは避難所医療救護所では、軽症者の治療が行われる。その後の行き先はどこか？
 8. 近隣の災害拠点連絡病院、災害医療支援病院はどこか？
 9. 傷病者の悪化を防ぐには常用薬を持参した避難が必要（避難の問題）
 10. 帰宅困難者が押し寄せる可能性
 11. 新宿区の地区防災計画はどうなっているか？

災害発生直後の避難所で求められる医療支援と問題点など